

第32回

# 兵庫県理学療法学会大会

大会テーマ

## Roots ~ 臨床重視への回帰 ~

日時 / 2021年7月18日(日) AM9:30~

**完全Web開催**

※ライブ配信のみ  
(オンデマンド配信なし)

大会長 / 田原 将之 医療法人愛心会 東宝塚さとう病院

参加費 / (公社)日本理学療法士協会会員	2,000円
(公社)日本理学療法士協会会員外のPT	6,000円
他職種	2,000円
理学療法養成校在籍の学生	無料
※大学院生の方は参加費 2,000円	

**事前参加登録**のみです。

詳細は下記公式HPまたはSNSよりご確認ください。

※本大会では紙媒体での抄録集の作成はございません。下記公式HPに抄録集(PDF形式)をアップ致しますので、日程などの詳細をご確認ください(6月上旬頃予定)。

<公式HP> <https://hyogo-pt.or.jp/gakkai/>

兵庫県理学療法学会大会

検索



Facebook



Instagram



Twitter



後援: 兵庫県 / 神戸市 / 一般社団法人兵庫県医師会 / 公益社団法人兵庫県看護協会 / 一般社団法人兵庫県作業療法士会 / 一般社団法人兵庫県言語聴覚士会 / 一般社団法人兵庫県介護福祉士会 / 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 / 一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会 / 一般社団法人兵庫県介護老人保健施設協会 / 社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会 / 一般社団法人兵庫県歯科医師会 / 公益社団法人兵庫県栄養士会 / 一般社団法人兵庫県薬剤師会 / 公益社団法人兵庫県放射線技師会 / 公益社団法人兵庫県臨床検査技師会 / 一般社団法人兵庫県臨床工学技士会 / 神戸市リハ職種地域支援協議会 / 神戸新聞社 / 株式会社サンテレビジョン / 朝日新聞神戸総局 / ラジオ関西 (順不同)

主催 / 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 担当支部 / 阪神北支部

運営事務局: ㈱コンベンションアカデミア 〒113-0033 東京都文京区本郷3-35-3 本郷UCビル4階 TEL: 03-5805-5261 FAX: 03-3868-2113 E-mail: hyta@coac.co.jp



# 大会プログラム

## 大会長基調講演

### Roots ～臨床重視への回帰～

演者 田原 将之 (第32回兵庫県理学療法学会 大会長)

## 特別講演 1

### フレイル・サルコペニアに対する理学療法最前線

座長 田原 将之 (第32回兵庫県理学療法学会 大会長)

講師 山田 実 (筑波大学人間系)

## 特別講演 2

### 薬物治療が可能となった脊髄性筋萎縮症のリハビリテーションの再考 ～Revisit and think together～

座長 岩井 信彦 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部理学療法学科)

講師 栗野 宏之 (神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野)

共催 バイオジェン・ジャパン株式会社

## 教育講演

### 真の臨床能力に資する臨床推論時の情報吟味能力とエビデンスの活用

座長 森川 宏 (第32回兵庫県理学療法学会 準備委員長)

講師 藤本 修平 (静岡社会健康医学大学院大学)

## シンポジウム

### 回復期から生活期における攻めのリスク管理

脳血管・運動器・がん・循環器・呼吸器・代謝それぞれの分野からシンポジストを招き、回復期や生活期にどのようなリスクが潜んでいるのか？どうモニタリング・判断していくのか？を講演頂きます。

新企画

## Pros&Cons\*

### Pros&Cons 1

#### 筋力増強に電気刺激を使うか？否か？

### Pros&Cons 2

#### 長下肢装具を使うか？否か？

※Pros&Consとは  
上記のテーマについて、2名の講師が賛成側と反対側に分かれ、議論することをいいます。  
一方にとってのPros(メリット)が、他方にとってのCons(デメリット)となっている関係を再認識することを目的とします。

## 演題発表

### 口述発表

- 研究助成演題 16演題
- 一般演題 25演題
- 新人発表推薦演題 11演題

◆ 新人教育プログラム単位認定及び専門・認定理学療法士の取得に関わる履修ポイントについて  
本学術大会は新人教育プログラム単位認定及び専門・認定理学療法士の取得に関わる履修ポイントが認定されます。

- 新人教育プログラム修了者：学術大会参加で生涯学習10ポイント。さらに、一般発表で生涯学習5ポイント。
- 新人教育プログラム履修中：学術大会参加のみでは単位の付与は無し。但し、学術大会の特別講演は「C-4 高齢者の理学療法(1単位)」、教育講演は「C-1 神経系疾患の理学療法(1単位)」、シンポジウムは「C-5 地域リハビリテーション(生活環境支援含む)(1単位)」として認定されます。また、一般発表者については、「C-6 症例発表(3単位)」として認定されます。